

「阿波ふうど情報」 (Vol.102)



阿波ふうど
AWA FOOD

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話088-634-2667

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館3階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/

◆「阿波市産ナス」東京・渋谷で「秋のナス祭り」を開催 ～夜行バス「貨客混載」便で産地直送～

とくしまブランド推進機構と「ターンテーブル(東京・渋谷)」は
JAあわ市の直売所「JA夢市場」(阿波市)と連携し、徳島「秋のナス祭り」を
開催しました。(10月中下旬)

同企画は首都圏の消費者や飲食店経営者へ「阿波ベジ」の魅力伝える
ことを目的に企画され、阿波市産ナス5種(千両ナス、白ナスなど)が夜行バス
「貨客混載」便によりターンテーブルへ届けられました。

翌日早朝に届けられたナスは早速、「千両ナスのチーズ焼きや水ナスのオイルフォンデュ」他、県のブランド地鶏「阿波尾鶏」を使ったオリジナルメニュー「阿波尾鶏コブサラダや油淋鶏美～ナス」などに調理され、同店人気のランチビュッフェで提供されました。



(担当したターンテーブルスタッフ)



(千両ナスのチーズ焼き)



(水ナスのオイルフォンデュ)

また同店併設のマルシェでもPR販売され、到着を待ちわびた常連客らが買い求めていました。

来店客から「評判どおりで美味しかった、いろいろなナスを様々な料理で堪能できた」と嬉しい評価をいただきました。

今後もJA及び関係機関との連携による各種フェアを開催して、首都圏での更なる「県産食材」の認知度向上に取り組んで参ります。

◆「さくらももいちご栽培振興プロジェクト」が始動！

佐那河内村のブランド品目「さくらももいちご」では、高齢化や担い手不足による生産量の減少が課題となっていました。そこで、佐那河内村やJA徳島市、徳島県などで組織する「佐那河内村いちご栽培振興協議会」が本年5月に設立され、「さくらももいちご栽培振興プロジェクト」を開始しました。

移住者による新規就農者の確保と高設栽培への転換やスマート農業の導入などにより、生産量の維持と発展を図り、持続可能ないちご栽培振興を目指しています。

まずは、新たな担い手の確保を図るため、地域おこし協力隊(佐那のいちご塾生)の募集を10月からスタート。現地説明会やおためし地域おこし(2泊3日の作業等体験)に参加できます。詳しくは、佐那河内村HPで確認できます。

(<https://www.vill.sanagochi.lg.jp/docs/2021091600021/>)

一方で、新規就農者の加入に合わせて、栽培方法を土耕栽培から高設栽培へ切り替えるための栽培実証試験も始まり、関係者による第1回目の現地検討会が開催されたところでした。

今後も関係者が一丸となってプロジェクトに取り組むことで、「さくらももいちご」の産地強靱化が図られることを期待されています。



(現地検討会の開催 11/9)



(佐那のいちご塾生募集チラシ)



(新農業人フェアで募集 11/13大阪市)